



サクランボの授粉を体験する園児たち



育実幼稚園、  
車力幼稚園児らが授粉体験

おいしいサクランボ  
なりますように

稲垣観光さくらんぼ園で5月14日、市内の育実幼稚園、車力幼稚園と五所川原市の金木幼稚園、中泊町の中里幼稚園の園児たち約60人が、サクランボの授粉体験を行いました。

同園は約80<sup>㍓</sup>の土地に約170本のサクランボの木があります。園主の尾野武彦さんは収穫の喜びに加えて育てる楽しさを知ってもらおうと授粉の体験に子どもたちを招いています。この日、尾野さんから授粉のやり方を聞いた後、毛ばたきを手にした園児たちは、「あまーい実が つきますように」と言いながら高砂という品種の花粉を正光錦の花に授粉しました。

サクランボは授粉してから50日ほどで収穫できるとのことです。尾野さんは、6月下旬から7月にかけて予定している開園前に園児たちを招待し、収穫体験をしてもらうことにしています。

今回で8回目となる「イオンふるさとの森づくり・花いっぱい推進運動2010」が4月29日、イオンモールつがる柏駐車場で開催され、周辺道路沿いの花壇に花を植えました。

この日は木造高校吹奏楽部の演奏で開会し、木造コミュニティ実行委員会、柏小学校の緑の少年団、同モールの従業員、市民など約400人が参加。ペチュニア2,000本を植え、市の花であるニッコウキスゲの記念植栽も行われ、参加者は緑化推進・環境美化に貢献していました。

## 花いっぱいのまちに



## 花を大切に育てて

### 市農業士会が花壇苗を贈呈



花を育てることを通じて「環境の美化」や「育てること」の大切さ学んでもらおうと、つがる市農業士会（木村聡会長）が5月14日、柏小学校に地元で生産された花の苗150鉢を贈りました。贈呈式には、4年生60人が参加し、同会副会長の佐々木浩巳さんから児童代表の成田春樹君と小野美衣奈さんに苗が手渡されると、工藤泰改君が「花が咲くとうれしくなります。大切に育てていきます」とお礼を言いました。その後児童たちは正面玄関前の花壇に色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、サルビアの苗を植え付けていました。

同会は、柏小の他市内6小学校にも600鉢の苗を贈呈しました。